



林 声

2018

1

月号



グリーンクラブは、奈義町で苗木作りをしている女性の林業研究グループです。写真の左から、野林つや子さん、岸本 栄恵さん、岸本 マサ子さん、寺坂 みさ子さん、細川 佐恵子さん、長畑 天津子さんの6名で構成されています。(詳細はP 2に記載)

目 次

おかやま林業女子	
林業で活躍する女性特集 (グリーンクラブ) …	2
新年のあいさつ …	3
普及指導区の情報 (岡山支部) …	4
ニューフェイスです! (公益社団法人おかやまの森整備公社) …	5
全国ブロックシンポジウム、 おかやまヒノキ木工クラフトコンテスト …	6
森林研究所成果発表会 …	7
林務の職場 (真庭市林業・バイオマス産業課) …	8
担い手サポートに取り組む市町村 (新見市) …	9

イベント情報 …	10
林産物市況 …	11
事務局からのお知らせ …	13
森林・林業施設の紹介 (津山市みどりの丘保育所) …	14

【ほっけ〜木になる情報】

Q. 山地災害危険地区が
公表されているのを
知っていますか?



おかやまの森の大使

特集

おかやま林業女子

グリーンクラブ

【勝英普及指導区】

今回は、新コーナー「林業で活躍する女性」として、奈義町で活動する林業研究グループ『グリーンクラブ』を紹介します。

一 グリーンクラブ（林研）

グリーンクラブは豊並樹苗生産組合の婦人6名で構成されている林業研究グループです。日々家業の苗木生産と孫のお世話と家事とでてんでこ舞いな毎日を過ごしているそうです。設立当初は、執筆活動や島根県で開催された中四国林業グループコンクールでの発表、県外への研修旅行など、林研活動は今以上に活発だったんだと楽しそうに語ってくれました。

二 苗木生産の年間作業

生産作業で身体的に一番しんどいのは、掘り上げ作業だそうです。種まきから出荷をするまでは、常に苗木のことを考えて生活するため、無事出荷できたときは、ホッとするそうです。1年間の大まか

なスケジュールは次のとおりです。

- 3月中旬～ … 植え付け
- 4月中 … 種まき
- (追肥・消毒・草取り)
- 11月下旬 … 掘り上げ
- 2～3月上旬 … 選別・出荷



みんなで協力して草取り中

三 メンバー紹介

ここで、6名のメンバーをご紹介します。

(寺坂みさ子さん)

大姉御として当初からメンバーをけん引！2年前からは自宅での苗作りを辞めたものの、組合員として森林研究所からの委託業務をこなし、今でも苗木生産に携わっています。今後への一言は、「つくづく歳はとりたくありません。」

(岸本マサ子さん)

秋田県鹿角郡出身で、結婚を機に奈義町へ。最近足が悪く現場からは離れているが、主人を支える縁の下の力持ちに。今後への一言は、「病気に負けないように、これからはがんばります。」

(長畑天津子さん)

コンテナ苗生産の先駆者。上手くないかなということもあったが、主人や息子と協力しコンテナ苗の普及に貢献。今後への一言は、「唯一、後継者がいます。これから林業が発展していくことを願っています。」

(野林つや子さん)

寺坂さん同様、直接生産はしていないが委託業務やメンバーの岸本栄恵さんの助っ人を引き受けています。今後への一言は「趣味も楽しみつづ孫の送迎も引き受けられる元気なおばあちゃんになりたいものです。」

(岸本栄恵さん)

結婚前は銀行に勤めており、彼女が畑仕事で苦労している姿に主人は機械化を決意。組合全体の機械化へ貢献しています。今後への一言は、「孫の世話に四苦八苦していますが、楽しく頑張ります。」

(細川佐恵子さん)

組合きつての「おしどり夫婦」として有名。良い苗は、良い夫婦から生まれるのかも。今後への一言は、「趣味のパッチワークを楽しみながら、仕事もがんばります。」



グリーンクラブのみなさん

四 おわりに

仕事以外でも地域行事や孫のお迎えで会うことも多く、生き活きと活動されているのが印象的でした。取材には快くご協力いただきありがとうございます。今後勝英普及指導区では支援を続けていきたいと思えます。

(勝英普及指導区 石黒 愛実)

新年の挨拶



岡山県林業
改良普及協会
会長
井手 紘一郎

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から当会の運営につきましましては、皆様の格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、森林・林業をめぐる情勢は、戦後造成された人工林が本格的な利用期を迎え、豊富な森林資源の循環利用に向けて、新たな木材需要の創出や安定的・効率的な国産材の供給体制の構築等により、林業の成長産業化の実現と森林資源の適切な管理を両立させることが喫緊の課題となっております。

このような中、国では、平成30年度税制改正大綱において、森林吸収源対策の財源確保として、森

林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）の創設や「新たな森林管理システム」の構築が進められており、森林のあり方や林業の役割等、その重要性が、注目されているところではあります。

県においては、昨年、新たな県政推進の羅針盤である「新晴れの国おかやま生き活きプラン」をスタートさせ、おかやま創世実現の加速に向けた取り組みなどを中心に様々な施策の推進がされており、その一環として、適正な森林整備や、さらなる県産材の需要拡大、木質バイオマス資源等の新技術開発、低コストで効率的な作業システムの開発による林業の収益性の向上、次代を担う力強い担い手の育成、少花粉スギ等への植え替えの推進などに努められています。

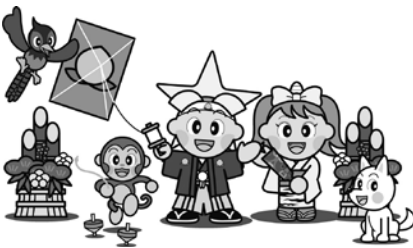
また、昨年4月に健全な森林の育成や木材産業の持続的な発展を目的に「岡山県県産材利用促進条例」が施行され、品質・性能に優れた県産ヒノキ製材品の海外への販路拡大やCLTの普及、東京五輪関連施設への利用を視野に県産材の利用を促進されているところです。

こうした中、国・県・市町村の

施策が実りある成果をもたらすためには、人や地域をつなぐネットワークづくりや正しい情報の共有が重要となっております。

当普及協会といたしましても、森林・林業の大切さや木材の良さをより広く、県民の皆様へPRするとともに、林研グループ交換研修大会や専門部会の開催、あるいは「林声」の発行による会員相互の情報共有を通して、地域のネットワークづくりに貢献するとともに、森林・林業情報の周知に努め、森林・林業が益々活気づくよう取り組んで参る所存であります。

最後に、会員の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、それぞれの分野で益々のご活躍をお祈り申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。



【共販日(特別市)のご案内】

岡山県森林組合連合会



本年もお引き立ての程、宜しく願い申し上げます。
皆様方からの多くの出荷をお待ちしております。



- 【津山木材共販所】 2 / 9 (金) 9時30分～
- 【新見木材共販所】 2 / 23 (金) 9時30分～
- 【勝山木材共販所】 2 / 27 (火) 9時30分～



**高等学校と協働で
木質空間づくり**
【岡山普及指導区】

一 はじめに

岡山普及指導区では、県南の若い人たちにも岡山県産材の魅力を知ってもらうため、県産ヒノキの材料を岡山市立岡山後楽館高等学校に提供し、授業でベンチなどの木製品を作製してもらっています。そして、完成した製品は、学校周辺の公共施設に寄贈して、木材とのふれあいの場も創出しています。

二 活動のきっかけ

岡山後楽館高校には、工業系の授業があり、1年生と3年生がそれぞれ1年間かけて、木製のテーブルやベンチなどの家具を製作しています。しかし、完成した製品は使われることがなく、学校に放置されることが多いことから、何かに活用できないかという相談がありました。

そこで、当普及指導区では、この木製品を使って、公共施設に木質空間を創出することにしました。

三 取り組みの流れ

① 3年生が履修する木工クラブト実習では、公民館や幼稚園などで使うことを想定して、家具などを設計します。また、1年生の工業技術基礎では、教師が設計したベンチを製作します。

② 当普及指導区では、設計に基づき、必要な木材を県産で調達し、高校に提供します。

また、木材の提供に合わせ、森林・林業・木材についての特別授業も開催しています。

③ 3年生は2〜3人のグループで1作品、1年生は一人が1脚を9〜2月の授業で製作します。

学校には、木工機械が揃っており、教師の指導を受けながら、細かい加工もされています。



製作の様子（平成28年度）

④ 完成した木製品は、製作した生徒の名前と顔写真が入ったプレートを付けて、周辺の小学校・幼稚園や公民館に寄贈します。



贈呈式の様子
(岡山市立中央小学校)

四 製作する木製品

1年生は、県産ヒノキの間柱材を1人5本使い、3人掛けのベンチを製作しています。

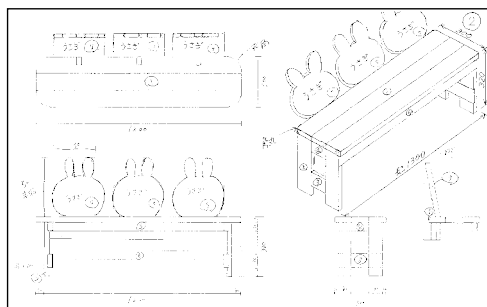
3年生は、使う人のことを考え、高さや大きさを考慮した椅子や緑台を設計します。子どもが使うことを考えて、角に丸みを持たせたり、かわいいデザインにするなど工夫も凝らしています。

使用する材料は、作品に合わせて板材や柱材など様々なものがあります。

五 関係者の声

高校の先生に話を聞いたところ、「実際に使われるものを作ること、使う人のことも考えて仕上げまで丁寧にするようになった。」という答えが返ってきました。

また、寄贈を受けた公共施設では、「思っていた以上の出来映えに驚いた。製作した生徒もわかるので大切に使用したい。」などの声を聞くことができました。



29年度製作中の作品設計図
(うさぎ背もたれベンチ)

六 今後に向けて

この取り組みは、今年で2年目になりますが、地域の木材関係業者などの協力を得ながら、ほかの学校にも広げていきたいと思っています。

(林業普及指導員 三宅 美裕)

ニューフェイスです

★公益社団法人

おかやまの森整備公社

おかやまの森整備公社は、昭和40年に設立以来、公的な森林整備機関として、県内民有林の人工造林面積の15%に相当する25千ヘクタールの人工造林を行い、現在は、年間4万㎡の素材を生産しています。この公社造林地の管理を行っている若手職員を紹介します。(①経歴と就職のきっかけ ②担当業務 ③今後の抱負など)



企画総務課
いしはら まさひろ
石原 誠大
28年4月採用

①岡山市出身で、大学卒業後民間会社の営業活動に従事していました。地元岡山での就職願望と林業を通じて地球環境の改善に貢献したいという思いから会社への転職を決意しました。
②奈義町・勝央町の公社造林地の管理のほか、造林補助事業や今

年度リニューアルした公社ホームページを担当しています。是非ご覧ください。

③木材生産性の向上と森林の環境改善の両立ができるような設計を心掛けて業務に従事していきます。公社造林事業を通じ、県民生活の向上に努めていきたいと考えています。



森林経営課
おおつuka きょうすけ
大上 京介
28年4月採用

①津山市出身で、豊かな自然に囲まれて育つたため、昔から山に関係する仕事に就職したいと思っていました。

②鏡野町の公社造林地の管理のほか、水源林担当として、巡視、森林調査、管理歩道の補修に関する事業の設計及び検査などを行っています。

③公社が植栽し、守り育ててきた造林地を次の世代により良い形で残していけるように、日々の業務や研修などで自分自身の知識と技術を高めていきたいと思っています。



森林経営課
たけもと かずや
竹本 和也
29年4月採用

①新見市出身の1年目です。これまでは法律の勉強をしてきましたが、新しい分野に挑戦したいと思い、公社職員を志望しました。

②真庭市及び新庄村の公社造林地の管理を担当しています。これから積雪の多い時期となつてきますので、早めの行動を心掛けたいと思います。

③公社の業務を通じて岡山の林業の活性化に貢献したいと考えています。そのためにより多くの現場を経験し、森林と触れ合っていきたいと思っています。



森林経営課
おかもと たくみ
岡本 拓己
27年12月採用

①美咲町の出身で、岡山県の林業に関わる仕事に携わりたいと思いい、公社に就職しました。嘱託

職員として約1年間勤務した後、採用試験に合格して職員になりました。

②岡山市、久米南町、美咲町、吉備中央町の造林地の管理と県から委託された県営林事業です。

③山林の状況をしっかりと把握し、環境に配慮した施業を心がけ、公社の経営目標の達成に貢献したいと思っています。



新見駐在所
かわむら とものり
河村 知範
28年4月採用

①兵庫県出身で、大学で林学を学びました。大学生活を通じて林業の現場への興味が高まり、学んできたことを活かした職業に就きたいと考えたためです。

②新見市(旧哲多町・旧哲西町)の公社造林地の管理のほか、列状間伐実施後の広葉樹侵入状況調査を担当しています。

③公社事業を通じて、公益的機能を維持できる森づくりに貢献したいと考えています。経験が浅いため、情報収集を欠かさずに業務に励みたいと思っています。

平成29年度林業普及指導員
全国シンポジウムの開催について

一 はじめに

今年度は平成29年12月5日(火)に農林水産省(東京都千代田区)で、全国の林業普及指導員等120名が参加し、林野庁の主催により開催されたので、その概要を報告します。

二 目的

このシンポジウムは、全国6箇所で開催されたブロックシンポジウムで最優秀賞に選ばれた代表が活動事例を発表し、その成果を全国に普及していくものです。

三 発表内容

(一) 北海道・東北ブロック代表

福島県「新規就業者の確保に向けた取組」高等学校等と連携した事例紹介」

(二) 関東・山梨ブロック代表

千葉県「原木しいたけ出荷制限解除等の取り組み」

(三) 中部・北陸ブロック代表

福井県「これがAgによるコミュニケーション林業だ！」

(四) 近畿ブロック代表

奈良県「県主導による提案型集

約化施業の推進について」

(五) 中国・四国ブロック代表

徳島県「美馬地域における新たな森林管理体制の構築」森林所有者と林業事業者とのマッチング」

(六) 九州ブロック代表

熊本県「阿蘇地域の林業担い手を確保・育成する『あその山モン活動』」

内容は、森林施業集約化の推進、森林所有者の意向を踏まえた林業事業者との調整など、森林施業推進のための取組が3件、高校生への林業現場見学会等の開催、林業就業希望者への「3日間トライアル雇用事業」の実施など、担い手の育成・確保に向けた取組が2件、また、千葉県からは、原発事故により出荷制限を受けていた原木しいたけの制限解除に向けた取組の発表がありました。

四 審査結果

審査の結果、中国・四国ブロック代表の徳島県の取組事例が最も高く評価され、最優秀賞を受賞しました。なお、受賞した徳島県西部総合県民局は、昨年度も最優秀賞を受賞しており、2年連続での受賞となりました。

(普及推進課 林業普及推進班)

おかやまヒノキ木工ラフト
コンテスト表彰式を開催しました！

12月17日、イオンモール倉敷で「おかやまヒノキ木工ラフトコンテスト表彰式」を開催しました。

本コンテストは、素材生産量が5年連続日本一を誇る県産ヒノキの魅力を広く普及啓発するため、今年度初めて開催したもので、ヒノキをテーマに夢のあるグッズや身近で使える日用品等の企画を募集しました。

表彰式当日は、県内外から応募のあった29点の企画の中から夢のある作品であるか、実用性・普及性があるか、ヒノキを生かしているか等について審査・選出された10作品を展示し、上位入賞者に県産ヒノキ製の賞状と記念品の目録を贈呈しました。

今後とも県産ヒノキの魅力を県内外に広く周知し、県産材利用への理解の醸成を図っていきます。

入賞者は次の皆さん。(敬称略)

【最優秀賞】 中谷 智(津山市)

【優秀賞】 井上俊之(岡山市)

小西伸三(美咲町)

入 選

- 阿部慎太郎(岡山市)
- 池本正治(備前市)
- 掛屋侑里(倉敷市)
- 谷口有梨(津山市)
- 溝口想菜(笠岡市)
- 宮本隆雄(大阪府)
- 森岡契太(京都府)

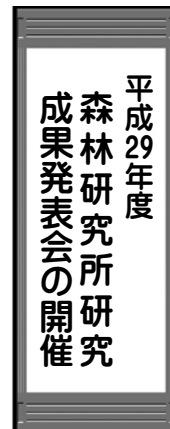


入賞作品の展示



表彰式

(林政課 林業木材班)



岡山県農林水産総合センター森林研究所では、これまで取り組んできた研究成果を関係業界や一般県民の皆様に分かりやすく紹介し、理解と関心を深めてもらうため、次のとおり研究成果発表会を開催します。

一 開催日時

平成30年3月9日(金)
13時30分から16時

二 場所

勝央町勝間田200-1
「勝央町公民館ホール」

三 内容

●研究成果発表

当日は、木材加工研究室から2課題、林業研究室から2課題の発表を予定しています。

(木材加工研究室)

①内装用木材の含水率管理技術の開発

②木質バイオマス燃料の乾燥状態の向上に関する研究

(林業研究室)

③林内におけるシカ侵入防止柵の管理

④倒木接種によるきのこ栽培の実用化

●ポスター発表

森林研究所で実施している試験研究課題についてパネル等を使ってわかりやすく研究員が解説します。

参加を希望される方は、平成30年3月2日までに森林研究所まで電話、FAX、メールにてご連絡願います。

なお、申込の際には住所・氏名・電話番号をお知らせください。

【申込先】

〒709-4335
勝田郡勝央町植月中1001
農林水産総合センター森林研究所
電話 0868-38-3151
FAX 0868-38-3152
メール ringyo@pref.okayama.lg.jp



昨年度の研究発表会の状況

課 題 名	要 旨
① 「内装用木材の含水率管理技術の開発」 (木材加工研究室 専門研究員 野上 英孝)	地域材の利用を推進するために、内装材への利用拡大が求められている。その際、無垢内装材においては使用環境中で出来るだけ寸法変化を生じないことが求められる。一方、近年の建築物においては、断熱・気密性能等の向上や熱源の転換が進んでいるが、温湿度など住環境に関する具体的データの蓄積が少ない。本研究では、近年の住環境に対応し得る無垢内装材の適正含水率基準および製造技術について検討を行った。
② 「木質バイオマス燃料の乾燥状態の向上に関する研究」 (木材加工研究室 専門研究員 小川 裕)	本研究では、林地残材のバイオマス燃料としての効率的な利用を促進するため、丸太をチップに加工するまでの前段階の乾燥に注目し、天然乾燥する場合の剥皮や半割等による形状処理条件が水分変化に及ぼす影響について調査した。
③ 「林内におけるシカ侵入防止柵の管理」 (林業研究室 専門研究員 三枝 道生)	シカは、県のほぼ全域で生息が確認され、被害発生地域も拡大しているが、被害が少ない地域では、防護対策をされていない地域も多く、対策していても管理が十分でなく、植栽木が被害を受けていることがよく見られる。本研究では、林内における侵入防止柵の管理方法について調査しており、今回は、その結果を報告する。
④ 「倒木接種によるきのこ栽培の実用化」 (林業研究室 専門研究員 藤原 直哉)	カシノナガキタイムシの激害地で、倒木接種を行った結果、ミズナラとコナラの大径木でシイタケとナメコの発生を確認した。また、ほだ木を防草シートで被覆したところ、秋期、シイタケの着色を抑制することが可能であった。この技術によって、明るい色調の原木シイタケを生産することが可能と考えられた。

▼林務の職場▲

真庭市林業・

バイオマス産業課の紹介

一 はじめに

真庭市は、岡山県の北中部に位置し、総面積828km²の約8割を森林が占めており、人工林率は約60%です。主な植栽樹種であるヒノキは、住宅の柱材等に用いられ、美しい光沢と特有の芳香が好まれてきました。市内には素材生産事業者約20社、製材所約30社があり古くから林業が盛んな地域で市内生産出荷額のうち木材・木製品が約270億円と全体の四分の一を占めています。

二 取組紹介

林業・バイオマス産業課は、林業グループとバイオマスグループの2つのグループで業務を担当しています。

①林業グループ

市有林保育事業、森林施業等に関連する各種補助金、CLT等の木材需要拡大に向けた各種補助金、森林計画制度に関連する業務、森林認証の普及促進など川上から川

下まで幅広く林業・木材産業の振興に取り組んでいます。

平成25年から全国に先駆けてICT活用による森林資源を生かすプロジェクトをスタートさせました。本プロジェクトにおいて、真庭市と森林組合が紙媒体で管理していた図面などの森林情報をデータ化し、それらをデジタル地図上に重ねて表示するシステムを構築。このシステムにより、今まで人数を要していた森林所有者・立木権利者等の情報把握といった作業が、画面上の簡易な操作で完了するなど、森林施業に伴う準備作業の大幅な効率化が図られ、年間施業面積が増加するとともに森林施業管理に向けた基盤が強化されました。

②バイオマスグループ

木質を中心としたバイオマスの利活用に関連する業務を担当しています。

真庭地域では木質資源活用に関する取組みや調査が段階的に進められ、平成17年に「真庭市バイオマスタウン構想」を策定するとともに、NEDO委託事業として木質資源をエネルギーとして活用するための実証事業を開始。林地残材、製材端材の集材、チップ生産と流通、利用について実証を行い

ました。

平成20年、真庭木材事業協同組合は真庭森林組合、市など地域関係者と連携し、燃料の安定供給を図るため、「真庭バイオマス集積基地」を拠点とする収集体制を確立。これまで利用率の低かった林地残材、樹皮をチップ化・粉碎処理し、地域内外へ供給することにより、未利用バイオマスの利活用が進みました。その後、真庭バイオマス発電所の事業開始に伴い、平成26年に真庭バイオマス集積基地第二工場が稼働。年間約4万トンの未利用資源（丸太）を収集しています。木質バイオマスが安定的に収集できているのは、買取制度を構築し、未利用の木質バイオマスに有償価値を生んだことが大きな要因と考えています。集積基地では事業者の情報収集し、燃料活用するそれぞれ事業者がメリットを得られるよう、輸送距離や価格設定の合意形成を図りました。

木質バイオマスの利活用には多くの事業者が関わるため、関係者の協力が不可欠であり、民間を中心に官民連携による積極的な事業展開が図られてきました。「価格や規格の合意形成」、「供給体制整備」、「供給窓口の設置」、「情報の共有化」、「運搬・流通の圏域の把握」

が成果として挙げられます。

また、木質バイオマス利用施設への安定供給を目指し、関係者が連携し平成25年に木質資源安定供給協議会を設立しました。同協議会では、「真庭システム」と呼ばれる独自の仕組みを構築。誰がいつどこから何をどの程度の木材を出荷したか、木質バイオマスのトレーサビリティが容易に把握できるとともに、バイオマス材の証明が容易になり、出荷者も管理者も効率化が図れました。

また、このシステムを活用し、未利用材の登録地を所有する山元に対し、発電用燃料代金のうち1トにつき500円を直接還元する仕組みを構築。森林所有者の経営意欲向上につながることに期待しています。

③スタッフ紹介

課長：實原将治

○林業グループ

主幹：有富征洋、主幹：池田洋之、

主幹：小山隆、技師：三村晃太

○バイオマスグループ

参事：佐山宣夫、主査：福島幸男、

主事：田村奨太

（真庭市 産業観光部 林業・

バイオマス産業課 技師 三村 晃太

新見市林業担い手 対策協議会の取組

一 はじめに

新見市は岡山県の西北端に位置する中山間都市で、総面積の86%を森林が占めています。そのうち、60%に当たる4万鈴が人工林であり、多くの木が林齢40年を超え、伐期を迎えています。

今後、主伐や間伐の増大が見込まれる中、若者を中心とする担い手の確保・育成が重要な課題となっています。

そこで、平成28年10月に市内の林業事業体、県、市などで構成する「新見市林業担い手対策協議会」を設置し、県の補助事業を活用して、担い手対策に取り組んでいます。

二 取組状況

【協議会の開催】

協議会には、市内の林業事業体の代表や移住定住支援を行うNPO法人の代表、県職員、市職員が参画し、様々な視点から林業の担い手確保、育成について検討を行っています。

また、県や市が実施する林業関

係事業や各事業体の独自の取組などを紹介する情報交換の場としても活用されています。

【移住・定住相談会への出席】

県や移住者支援を行う法人等が開催する東京や大阪などでの移住・定住相談会において、林業就業相談ブースを出展し、市外からの新規就業者の確保に取り組んでいます。都市圏に居住する移住希望者にとって、仕事は移住先を決めるうえで重要なポイントのひとつでもあるため、実際に林業に従事している人が相談を受けることによつて、新たな地で就職することへの不安解消や林業の魅力発信に繋げることができると考えています。

【林業の魅力発信】

市外に居住する人だけでなく、市内の若者に林業をPRすることも重要です。新見市では、高校や大学等の卒業後に市外企業に就職する若者が非常に多く、市内企業は従業員の確保に苦慮している状況です。しかし、市外企業に就職する人の中には、新見市内での就職を希望しながらも就職先を見つけられず断念したという人もいます。こうした企業と求職者のミスマッチを改善し、確実に後継者を

確保していくためには、企業のPRが必要不可欠です。

そこで、協議会では林業や林業事業体を紹介するリーフレットやホームページを作成し、市内外の若者に向けて林業の重要性を伝えるとともに「カッコいい林業」をPRすることで、イメージアップを図っています。

【チェーンソーによる丸太切り体験】

将来を担う若い人材に市内産業をPRすることを目的とする「わくわく産業ランド2017 in いみ」が11月18日に市内で開催されました。

協議会でも林業のPRのため、安全を十分に確保したうえで、チェーンソーによる丸太切り体験を実施しました。そして、子どもから大人まで多くの参加者に楽しんでもらうことができました。来年度からもこうした取組を継続し、将来を担う子どもたちにも林業を身近に感じてもらえるような働きかけを行っていききたいと考えています。

三 おわりに

私は、今年度4月から農林課林業振興係に配属され、初めて林業に携わることとなりました。そんな私が目にした林業は想像とは全

く異なるもので、そこには高性能林業機械を活用した安全で効率的な作業現場や若い人の輝く笑顔、そして、林業家たちの熱い想いがありました。「新見の山を守る。そして、未来へと繋いでいく。」それが、山で働く人たちの誇りであり、願いでもあります。

私は、林業の魅力を一人でも多くの人に知ってもらいたいと感じています。そして、一人でも多くの人に山に関わってもらいたいと思います。そのために、さらなる担い手対策の取組を関係者との協働のもとで推進していききたいと思っています。

(協議会事務局 新見市 産業部
農林課 主事 川本 了心)



林業就業相談ブースの様子

森林・林業関係イベント参加募集

※詳細は申込先にお問い合わせください。

開催月日	場 所	行事名称・内容	問合せ・申込先等
1. 19 (金) 1. 20 (土)	とっとり・おかやまの新橋館1階 (東京都港区1-11-7 新橋センタープレイス)	とっとり・おかやまのジビエ -TORIOKA GIBIER-	岡山県鳥獣害対策室 TEL (086) 226-7439 鳥取県食のみよこ推進課 TEL (0857) 26-7835
1. 21 (日)	ピュアリティまきび 2階 「千鳥」 (岡山市北区下石井2-6-21)	林業就業ガイダンス in 岡山 参加費：無料	公益財団法人 岡山県林業振興基金 TEL (086) 225-9382
1. 27 (土)	品川インターシティホール	森林の仕事ガイダンス (東京)	森林の仕事ガイダンス事務局 TEL (03) 6225-0258
2. 3 (土)	共生の森・柵原 (美咲町書副)	保育のつどい (広葉樹林整備、キノコ植菌)	久米郡森林組合 TEL (0868) 66-0053
2. 3 (土)	大阪マーチャンダイズ・マート Aホール	森林の仕事ガイダンス (大阪)	森林の仕事ガイダンス事務局 TEL (03) 6225-0258
2. 10 (土)	J Pタワー名古屋 ホール&カンファレンス 3階	森林の仕事ガイダンス(名古屋)	同上

技能講習会の開催 (2月~4月)

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会場	日 程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	3月15、16日	(社) 岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571
玉掛け (未経験者対象)	岡山	3月8、9日	
フォークリフト運転	岡山	3月7日	
はい作業	岡山	2月24、25日、3月17、18日	キャタピラー教習所岡山教習センター TEL (086) 272-0001
刈払 (安全衛生教育)	岡山	2月21、22日	
伐木 (特別教育)	津山	2月21、22日、3月27、28日	



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360



林産物市況



木 材 (12月21日)

単位：千円/㎡

樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り	樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り
杉	3 m	14~16	12	—	檜	3 m	14~16	21	16
		18~20	10.5	—			18~20	18	15.5
		22~28	10	—			22上	16.5	14.5
	4 m	18~22	10	—		4 m	14~18	18	16
		24~28	10	—			20~22	16	14.5
	6 m	16~18	15	—			24~28	16.5	14.5
松	3 m	18~22	10	8	6 m	16	—	—	
	4 m	18~22	10	8		18~20	31	—	
・ 出荷材積 約2,200㎡									
(共販所より概況)									
杉概況：					檜概況：6 mは18cm以上の直材をお願いします。				
【3 m】		【4 m】			【3 m】		【4 m】		
柱 材	横這い	中目材	横這い		柱 材	横這い	柱 材	横這い	
中目材	横這い	元 木	横這い		中目材	横這い	中目材	横這い	
松概況：—									

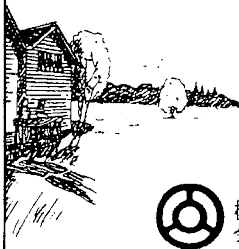
資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製 材 (12月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安 値 ~ 高 値 (円/㎡)
ス ギ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	53,000 (直送) ~ 58,000 (市場)
	正角 3 m 12cm角	特等	K	53,000 (直送) ~ 58,000 (市場)
ヒノキ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	60,000~65,000 (背割無)
	正角 3 m 12cm角	特等	K	58,000~65,000 (背割無)
マ ッ	平角 4 m 10.5~12cm×15~18cm	一等	K	75,000
米マツ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特等	G	58,000~60,000
	平角 3 m、4 m 10.5×15~21cm	特等	G	59,000~
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特等	K	70,000~75,000
ホワイトウッド	間柱 3 m 2.7cm×10.5cm	特等	K	57,000~

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。



緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
 TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
 大阪営業所 津山営業所 水島営業所

安心と信頼の証を届けます



創業以来、永年に渡り体育器具・遊具を製作してまいりました。地元メーカーとして責任ある製品作りに取り組み、安心と信頼を皆様にお届けします。

日本体操協会器械器具検定工場・日本公園施設業協会認定工場

OHKUBO 大久保体育株式会社

■本社 〒703-8214 岡山市東区鉄409 TEL (086) 279-0585 FAX (086) 279-0460
 ■倉敷営業所 〒710-0312 倉敷市藤戸町天城1021-1 TEL (086) 428-7576 FAX (086) 428-6153
 ■東京営業所 〒201-0003 東京都江和島本町1-21-1(201) TEL (03) 5761-9577 FAX (03) 5761-9587

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材
 防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
 TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま


◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
 総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
 TEL 岡山(086)805-7033(代)

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！
 保険金がでるのは？
 火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。
 岡山県では過去5年間で約2千7百万円の保険料が支払われました。


ご契約のモデルケース (1ha あたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年 保険期間…5年 保険金額…最大188万円 一括払いと 21,225 円 (5年間計)	樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年 保険期間…5年 保険金額…最大299万円 一括払いと 37,375 円 (5年間計)
--	---

1ヶ月あたり
約350円

→


わずかおむすび
3個分



1ヶ月あたり
約620円

→

わずかラーメン
1杯分



○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。
 ○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。



「緑の募金」 ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

「ほつけく木になる情報」

A. すぐ裏の山があなたの家に襲いかかってきたとしたら：

山地災害はある日突然やってきます。

山地災害は、一般に山崩れ、地すべり、土石流などの現象によって起こる災害をいいます。

山地災害のおそれのある地区がどこにあるかを知っておくことは、災害に備えるためにもとても大切なことです。

県では、地形、地質、林況等の条件と人家や公共施設、道路等との関係から、山地災害の起こりやすい地区を「山地災害危険地区」に設定し、県内に約6千5百箇所あります。

「山地災害危険地区」の位置情報は、岡山県ホームページ「おokayama県統合型GIS」から確認することできますので、身近に危険な箇所があるかどうか、確認してみましよう。

【岡山県ホームページURL】

<http://www.gis.pref.okayama.jp/pref-okayama/Portal>

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 コニファー水和剤 〔幼令樹保護カバー〕 くわんたい
 〔樹皮食い防止に〕 バークガード 〔野生草食獣食害防止〕 防獣ネット
 〔クズ専用除草剤〕 ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース

〔樹幹注入剤〕 マッケンジー注入剤

(お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社

TEL：086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所

TEL：06-6231-2819

事務局からのお知らせ

◎会員及び投稿募集しています

事務局では、会員の方から森林・林業に関する質問や疑問、イベント情報等、身近な話題の投稿をお待ちしております。

また、新規会員も継続して募集しております。

【問い合わせ・送付先】

〒700-8570

岡山市北区内山下2-4-6

岡山県庁林政課内 または

〒717-0013

真庭市勝山1884-2

森林研究所木材加工研究室内



おokayama森の大使

林声

平成三十年一月一日（第四五七号）
（隔月一日発行）

編集 発行
〒700-8570 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会
岡山市北区内山下二一四一六



「津山市みどりの子保育園」
津山市がグリーンヒルズ津山内に移転整備し、平成29年4月に開園しました。
園舎は木造平屋建て延床面積約2000平方メートル、木材使用量約320立方メートルを使用した施設で、保育室、調理室、遊戯室のほか、子育て支援センターも併設しています。
公園の緑に囲まれ、地域の木材をふんだんに使用した広々と温もりのある恵まれた環境の中で、園児たちは過ごしています。
（津山普及指導区）

森林・林業施設の紹介



日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕	森樹郎マット 〔切土土砂用〕	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕	張りウッド 〔盛土用〕	ハリシバモック 〔盛土用〕

「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎（シンキロウ）マット工法」

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社
<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>
津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256
岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社
津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>